

年頭のあいさつ



議長 宇田川 好秀

優しさと安らぎのある

まちづくりを

新年を迎え、市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催することが決定し、本市の地場産業である鋳物で作られた国立競技場の聖火台が注目を浴びたほか、市制施行80周年という大きな節目の年を迎えるなど、長引く不況の中においても明るいニュースがありました。

議会に目を向けますと、一般質問においては、延べ57名の議員が登壇し、自然災害への対応・対策、防犯に関するものや教育・子育て支援に関する質問など、様々な視点から、数多くの質問及び提言がなされたほか、「地方税

財源の充実確保を求める意見書」など、10件の意見書を内閣総理大臣をはじめ、関係大臣あてに送付いたしました。

また、議会改革としては、同時に開催していた4つの常任委員会を2日間に分けて開催することとしたほか、一昨年の議場での避難訓練の反省を踏まえ、傍聴席からの避難経路の確保や非常階段の設置など、多くの市民の方が安心して傍聴していただけるよう改善を行いました。

地方分権の決議がなされてから20年が経過した今、私たちを取り巻く社会環境は、長引く地域経済の低迷や自然災害を含めた地球環境問題への対応等、大きな転換期を迎えています。そのような中、地方自治体におきましては、

市自らが決定し責任を負う姿勢がこれまで以上に求められております。

岡村前市長のご功績をたたえまともに、今後も二元代表制の一翼を担う議会として、議会制度の改革や政策立案能力を向上させ、市民の皆様の意思を政策に反映し、これからも優しさで安らぎのあるまちづくりに努めて参りたいと考えております。

新年を迎えるにあたり、市民の皆様の信頼に応えるべく、議員一丸となつて汗馬の労を惜しまず邁進して行く所存です。

本年が市民の皆様にとりまして、幸せで実り多い年となりますことを心から祈念申し上げます、新年のあいさついたします。



市長職務代理者 澁谷 祥晴

職員一丸となって

全力を尽くします

新年を迎え、市民の皆様には、平成26年の清々しい新春をお健やかに迎えるのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は市制施行80周年の節目の年を迎え、記念式典の開催、記念碑の除幕など関連行事を盛況裡に開催し、多くの市民の皆様と共に祝うことができました。今日の川口の繁栄は、先人の皆様のためまぬご努力とご精進の賜物であり、改めて心から感謝を申し上げますとともに、歴史、自然、産業など、本市の貴重な財産を、次の世代に引き継いでいかなければならないとの思いを強くいたしたところでございます。

また、成人歯科健康診査・歯科ドックの30歳以上の全市民への拡大、地球

高温暖化防止に向けた「かわぐちグリーン・エナジー戦略」の開始、地域貢献活動を行っている市内中小企業を信用面や資金面で支援する「地域貢献事業者認定制度」の創設など、市民生活の安定と中小企業の経営の安定に取り組むことができた1年でもありました。

これらは、ひとえに市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と、改めて心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年は4月からの消費税率引き上げに伴い、一層厳しい経済状況・財政状況が予想されますが、引き続き、市民生活の安定と中小企業の経営の安定を第一に、神根・赤山地域の優れた歴史と自然を生かした（仮称）赤山歴史自然公園及び市制施行以来の懸案で

ある（仮称）川口市火葬施設の整備、市立高等学校3校を統合した新校の設立、防災拠点となる市役所新庁舎の建設という大規模プロジェクトを着実に進めて参りますとともに、ご当地ナンバー「川口」の導入や「第2回川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」の開催による新市の一体感のさらなる醸成に取り組むなど、岡村前市長の遺志を引き継ぎ、新たな市長が就任されるまで、職員一丸となつて市政運営に全力を尽くして参りますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

結びに、どうか新しい年が、市民の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますよう、心から祈念申し上げます、新年のあいさついたします。